

ご愛読者の皆さまへ ~定期購読申し込みのお願い~

いつもThe Watch & Jewelry Todayをご愛読いただき、有難うございます。
これまで無料でご愛読いただいていた皆様を6月15日より順番にお止めさせていただきます。



発行所 (株)時計美術宝飾新聞社
編集発行人 藤井正義
〒110-0015 東京都台東区東上野1-26-2



保険のご相談は(株)東時へ 本社:03-5817-0353 西日本支社:06-6252-4477

市民とともに築く豊かな街づくりから100年後も盛況な地場の宝飾産業を新たに「宝石のまち甲府会議」を設立

「甲府地域において宝飾産業を継承・発展させるために、同産業を通じた豊かな甲府地域づくりに貢献すること」を目的に、宝飾産業関係者以外を市民と共に一致団結し、豊かな甲府地域づくりを行うために多くの人が集うことができる新たな会議体が必要として、透明性が高く公益性の高い事業を行える「一般社団法人 宝石のまち甲府会議」の設立総会が5月16日、甲府商工会議所で行われた。



「甲府地域において宝飾産業を継承・発展させるために、同産業を通じた豊かな甲府地域づくりに貢献すること」を目的に、宝飾産業関係者以外を市民と共に一致団結し、豊かな甲府地域づくりを行うために多くの人が集うことができる新たな会議体が必要として、透明性が高く公益性の高い事業を行える「一般社団法人 宝石のまち甲府会議」の設立総会が5月16日、甲府商工会議所で行われた。

て事業を展開していきたい。世界共通の価値観を持たれている宝飾品を取り扱う我々の産業の可能性は非常に大きく、世界中から人々を甲府地域に呼び寄せるパワーを持っている。人口減少を迎える時代の中、宝飾産業は同県を代表する地場産業として、国内はもちろん海外へも多くの情報を発信するとともに、受け入れ態勢を整え、世界中から宝飾品を求め人々を甲府地域へ足を運んでいただき、交流人口を増やしていくことが我々の目標達成への道標となる」との挨拶を行った。



Mine to Mineに通じるあらゆる人にフィーチャー 新コンテンツに注目集まる

100年の歴史を誇るUCHI-HARA Groupが手がけるジュエリーブランド「サバース」(東京港区、内原一郎社長)のホームページに、「サバース」が掲げる制作背景の透明性と各分野で活躍する女性たちとの共通項を探るコンテンツが新設され注目を集めている。

デルであり、フラワーライフスタイルプロデューサーの畑野ひろ子さんが登場。フラワーライフプロデューサーとして活動を始めたきっかけや、畑野さんが愛する、サバースと同じサザンアフリカ由来のネイティブフラワーの魅力、彼女にとってのジュエリーについてを中心に幅広く語っている。

サバースのクリアな生産背景と共に、雑誌などでは何もないフラワーライフプロデューサーとしての畑野さんの魅力に出会えるページとして話題に。流行としてのエシカル・サステナブルでは、その奥にある背景に想いを馳せたストーリーは、時代を超えて受け継ぎたい取り組みとして注目。5月27日に公開されたVol.2では、料理人であり原宿の路地裏レストランeatrip主宰の野村友里さんが登場。食品におけるトレーサビリティを大事にして、確かな食材を使用した料理を顧客へ提供している野村さんは、将来豊かな安心な食を摂取できる社会を目指している。

ビジョンを掲げた「IOFT2022」 業界と共に変革、新たな計画を練る



10月18日~20日に東京ビッグサイト東展示棟で開催される「国際メガネ展IOFT2022」の概要を主催者であるRX Japan(株)と(一社)福井県眼鏡協会が記者発表会を開き概要を説明した。

RX JapanのIOFT担当の矢島大地統括事務局長は「現場には新しい発見があり、リアルに商談したい」という声があることから価値ある展示会を新たに目指し、拡大・発展させていくと共に、展示会が変わったと言われるよう貢献していくことを強調した。

件数、受注額を増やす。②海外バイヤーとの商談機会を増やす。③消費者啓発のために、価値を確立する。の3つを柱に、出展価値を高め、出展各社の満足度を高め、IOFTを大きく変えていく。具体的には、来場者数を10,000名(前回5,863名)に増加させるために、DM送付先を抜本的に見直し、適切に発送する。専任スタッフを擁立させSNSやデジタル広告など、新たなプロモーションを展開。会議室貸し出しサービスも利用店舗数を増加させ、商談件数と受注額増加に繋げる。また国内眼鏡店との商談件数と受注額を増やすために、地方有力店100社を特別招待(ホテル宿泊無料など)する。さらに来場できない小売店とは遠隔PCでのマッチングも実施する。

THE LAZARE DIAMOND advertisement with diamond image and contact info

5年後(2027年)のIOFTのビジョンとしては『アイウェアの「今」と「未来」が集まるアジア最大級の国際総合展』にする。これを掲げ、出展社数500社(海外200社)、来場者数20,000名(海外3,000名)を目標として挙げた。

そのほか、複数のTV報道、日本メガネ大賞などの併設イベント、オープニングセレモニー、各種セミナー、サステナブルアイウェア・ゾーンの新設、SDGs啓発ブースなど、新たな計画が業界と共に練られている。

MURATA JEWELRY advertisement with jewelry images and contact info

Vol.1では、モ

Dia Flore advertisement with jewelry image and contact info

野村さんにとってのダイヤモンドとは、ロマンやエネルギーを感じるもので、たとえ身につけていたとしても大地上からの預かりもの。その真意を「SA MAGAZINE」で詳しく語っており、素材など、分野は違ってもサバースの中核を成す点との共通項を多角的に紹介するページとなっている。

ear-fit advertisement with earring image and contact info

Central Gemstone Research Institute (CGL) seminar guide with schedule table

UchiHara advertisement with gemstone image and contact info

Sea Force advertisement for festival event with event details